

村にするために 考えます!!

村民と議会の 意見交換会

意見交換会

自然・景観 土地利用

最近の慌ただしい開発の動きは、 観光財産を失うのではと危惧

- 自然にあこがれ、好きで移住してきたが、家庭菜園をしたくても畑がない。市民農園が欲しい。
- 村内には大きな公園がない。遊具のある公園を言うのではなく、自然の中で遊べる公園、ゆつたりとした空間が欲しい。
- 朝や夕方にウォーキングしているが、公衆トイレが少ない。ウォーキングしていても、休むベンチがあれば自然の景色も楽しめると思う。
- 環境や景観は厳しい条例を策定すべき。このままいったら白馬の素晴らしい景観は失われてしまう。
- 休耕田の増加が気になる。里山や景観を守るために村はこういう形でやっているという姿勢を見せるべきだ。大切にしたいところが守られていない。
- 白馬の観光の目玉は、「やま・里山の自然・澄んだ空気」。里山の景観を損なうような「規制緩和」は、命取りに…。最近の

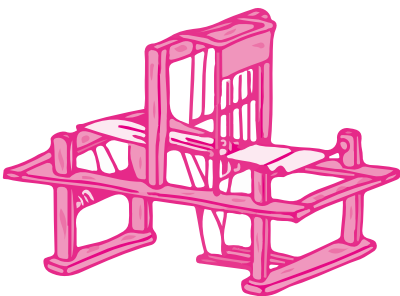


- 建物が増えて込んだ里山の背景にした北アルプスの山々は、美しく見えない。今こそ「自然豊かな観光立村白馬」のターニングポイント。議会と行政は身近な利害関係者の意見だけでなく、いろいろな立場の人の話を聞く配慮と努力が求められる。
- 移住者の終の棲家にふさわしい景色の良いところに、村営の共同墓地を！

観光・農業・ 産業振興

隠れた観光資源、 農村文化の掘り起こしを！

- 観光データの収集をしっかり行い、次への政策に繋げるべき。正しいデータが収集されていないのではないか？
- 隠れた観光資源として、農村文化の掘り起こしをしてほしい。歴史や文化の散策が出来る里山コースの整備など(道を良くすることなく)。
- 基幹産業は観光。観光が村をつくっている。観光で賑わう村になって欲しい。
- 自分たちで作ったお米



- 人口が増えなくても単価が上がれば、一人一人の収入は上がる。
- を食べる。白馬産米を食べる。流通を変えないといけない。そばも同じ。

テーマ・ 意見交換会

出た意見に どう対応？

- テーマが曖昧過ぎてコメントに困る。具体的なテーマを持つべき。
- 出た意見に議会がどのようなアクションを取ったか、またそれらの意見を発表する機会を作るべき。
- 観光立村白馬の場合、多くの住民は「土、日曜日」は観光客の対応に追われるので「住民の意見を聞く」のに週末は避けるべき。

